

通常の学級における包摂力のある好事例

【キーワード】	視覚補助具、拡大教科書、合理的配慮
【学校、学年】	小学校
	【 2 】年
【状況、様子 等】	<p>○前年度の児童Lの様子等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常学級で支援員がマンツーマンで支援にあたっていた。</li> <li>・見えにくさがあり、めがねを何度も洗いに離席していた。</li> <li>・光に対して敏感であり、目が痛くなることがあった。</li> <li>・黒板が見えないため、手遊びが多かった。</li> <li>・教科書を近距離で見ようとして、立ち上がることがあった。</li> <li>・文字のバランスがとれない、枠内に記入できないことがあった。</li> <li>・文字を書きたがらない、書くまでに時間を要することがあった。</li> </ul>
【対応・工夫】 支援、 合理的配慮、 基礎的環境整備、 学級経営、 支援体制 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚補助具（ルーペ、単眼鏡、書見台）を使用した。（合理的配慮）</li> <li>・教室の座席を最前列、廊下側にした。（合理的配慮）</li> <li>・拡大教科書を使用した。（合理的配慮）</li> <li>・周りの児童に対し、視覚補助具の使用についての説明をした。（学級経営）</li> <li>・電子黒板を手元のタブレットに映し出した。（合理的配慮）</li> <li>・黒板の文字を本児の見える大きさに書いた。（合理的配慮）</li> <li>・漢字の間違いは、繰り返し練習するようにした。（支援・手立て）</li> <li>・絵を描く活動では、教師が輪郭を太く描いた。（支援・手立て）</li> <li>・グループ活動では、大きなホワイトボードを使用し、話し合った内容について、本児が自信を持って記入できるようにした。（合理的配慮）</li> </ul>
【結果、変容 等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の離席が減少した。</li> <li>・黒板や電子黒板を見て活動することはあまりないが、教科書やワークブック等の手元資料を見ながら、同じ活動に取り組むことができるようになった。</li> <li>・ノートの記入には時間を要するため、本児が自分で工夫して早めに取りかかり、他の児童と書き終わりが同じくらいにできるようになった。</li> <li>・漢字や文字の書き取りは、繰り返し練習することで、枠の中に納めて正しく書くことができるようになった。</li> <li>・グループ活動には、率先して取り組むことができるようになってきた。</li> <li>・授業時間いっぱい集中して取り組むことができるようになった。</li> <li>・支援員の配置はあるが、支援を要することが少なくなり、一人で授業に参加できることが多くなった。</li> </ul>